１．０歳児のテレビ接触の実態

横山　滋　（ＮＨＫ放送文化研究所）

(1) １日平均３時間前後のテレビ接触

０歳児がテレビに接触している時間は、7 曜日すべてに記入された 1,160 票で集計すると平日平均で 3 時間 15 分、土曜日は 2 時間 41 分、日曜日は 2 時間 52 分であった。

(2) 曜日と時間帯によって異なる０歳児の接触チャンネル

平日は午前と夕方にＮＨＫ教育テレビへの接触が多い。同じ傾向は、土曜日の午前についても見られる。

平日のゴールデン・タイムと週末には、民放各チャンネルへの接触が多く、それらの中には「サザエさん」や「ドラえもん」のような子ども向け番組もあるが、大部分は両親をはじめとする家族が好んで見る番組である。

(3) 接触時間量が最も多いのはＮＨＫ教育テレビ

チャンネル別に見て最も接触時間が長いのはＮＨＫ教育テレビで、週平均で 52 分、民放ではＴＢＳ・フジテレビ・日本テレビが 30 分余り、テレビ朝日とテレビ東京は 10 分未満である。

(4) 個別視聴は週平均で 45 分

週平均 3 時間程度のテレビ接触のうち、０歳児だけでテレビに接しているのは 45 分で、残りの 2 時間 19 分は母親といっしょである。

平日と土日の比較では、土日の方が 0 歳児だけで接触している時間が短い。

0 歳児だけで接触している時間量が多いのは、ＮＨＫ教育テレビである。

(5) 専念型接触の多いＮＨＫ教育テレビ

０歳児におけるテレビ接触の 65%は、０歳児がいた部屋でテレビが「ついているだけ」であった。「他のことをしながら見ていた」時間の割合は 29%で、「専念してみていた」のは全テレビ接触の 6%であった。

チャンネル別に見ると、民放各局とＮＨＫ総合テレビは「ついているだけ」というケースが圧倒的に多いが、ＮＨＫ教育テレビは子どもが「見ている」とみなされる割合が高く、「他のことをしながら見ていた」と「専念して見ていた」という割合が他のチャンネルより格段に多い。